

よりよい学校救急体制構築をめざした 児童・生徒・教職員に対する意識調査

木下輝来（学生）¹⁾、檜垣高史²⁾³⁾⁴⁾、高田秀実²⁾⁴⁾、太田雅明²⁾⁴⁾、千阪俊行²⁾、宮田豊寿²⁾³⁾、渡部竜助²⁾、
前澤江身子²⁾、柏木孝介²⁾、赤澤祐介⁴⁾、田代良²⁾³⁾、森谷友造²⁾、山本英一²⁾、江口真理子²⁾³⁾⁴⁾



¹愛媛大学医学部医学科2回生、²愛媛大学大学院医学系研究科地域小児・周産期学、
³愛媛大学大学院小児科学、⁴愛媛大学病院移行期・成人先天性心疾患センター



よりよい学校救急体制構築をめざした 児童・生徒・教職員に対する意識調査

木下輝来（学生）¹⁾、檜垣高史²⁾³⁾⁴⁾、高田秀実²⁾⁴⁾、太田雅明²⁾⁴⁾、千阪俊行²⁾、宮田豊寿²⁾³⁾、渡部竜助²⁾、
前澤江身子²⁾、柏木孝介²⁾、赤澤祐介⁴⁾、田代良²⁾³⁾、森谷友造²⁾、山本英一²⁾、江口真理子²⁾³⁾⁴⁾



¹愛媛大学医学部医学科2回生、²愛媛大学大学院医学系研究科地域小児・周産期学、
³愛媛大学大学院小児科学、⁴愛媛大学病院移行期・成人先天性心疾患センター



研究の背景と目的

<背景>

児童・生徒の心臓性突然死ゼロに向けて、愛媛県内の一部の地域にて、「**生徒全員への心臓超音波検査を用いた検診**」とともに「**AEDを用いた救急蘇生シミュレーション**」を実施している。このプロジェクトを通じて、心電図検診、診察では抽出できない突然死を起こす疾患を発見し、予防すること、および、心肺停止を目撃した際にバイスタンダーとして速やかに行動できるようになることを目指しており、児童・生徒さらには教職員に、心臓やヘルスケアにより興味を持っていただけるように工夫している。心臓超音波検査の有用性に関して、以前より報告してきたが、**児童・生徒・教員の知識や意識の向上、取り組み後の変化については、明らかとなっていない。**

<目的>

より良い学校救急シミュレーションのあり方や、検診・心疾患に対しての**児童・生徒・教員の意識や知識のレベルを明らかにする。**

対象と方法

1) 対象 スクリーニング・救急蘇生シミュレーションを行った複数の学校の児童(小1～小6、中1)・教員に対して、アンケートを実施。なお小学校1年生はアンケート内容が十分に理解できず、小学校6年生についてはアンケートの同意が担任より得られなかったため、結果より除外した。

2) アンケート内容(抜粋)

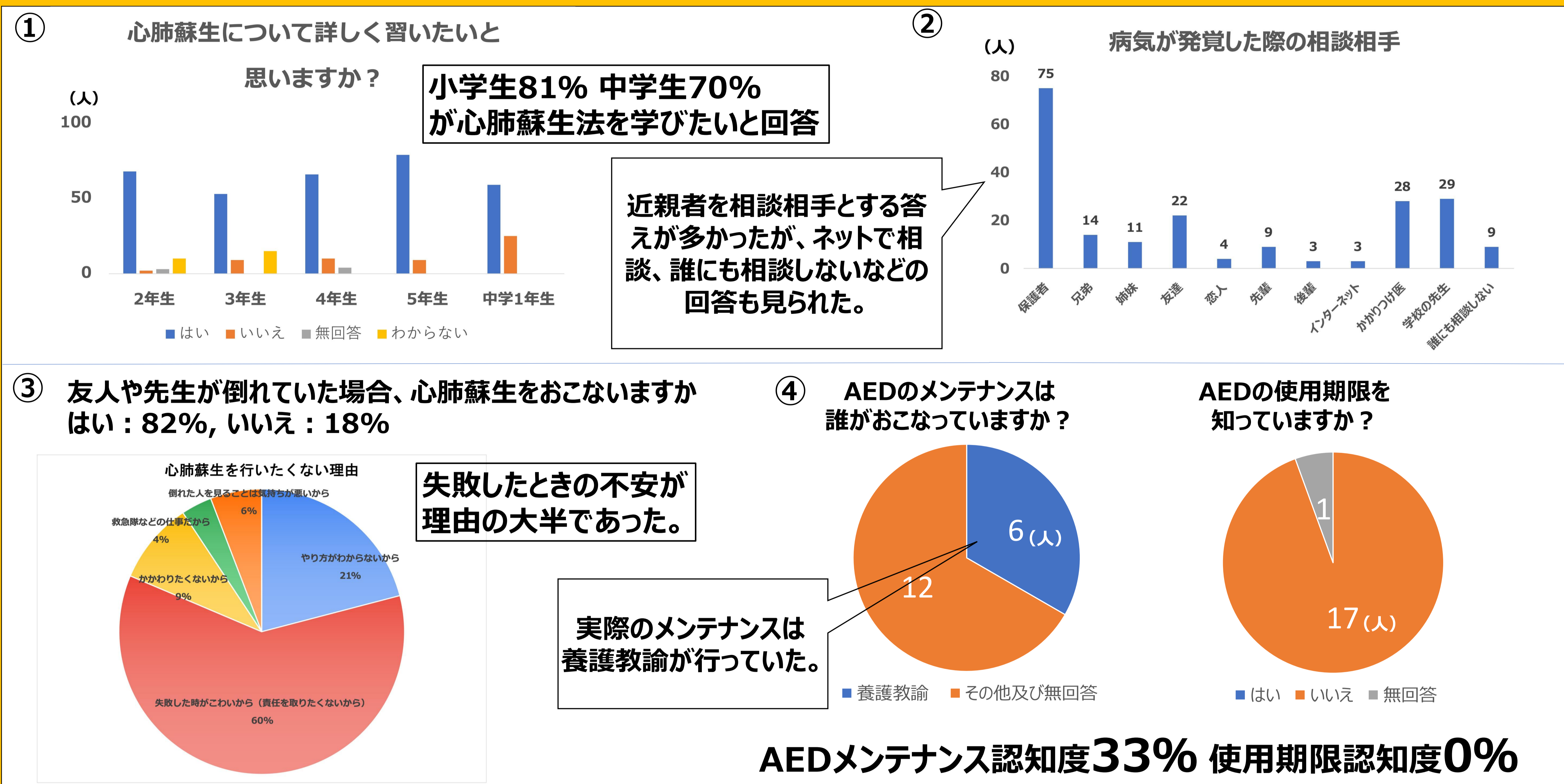
児童対象

- ① 児童に向けて心肺蘇生(救命救急)について、**詳しく習いたいですか。**
- ② 自身に心臓の病気が見つかり、体育の授業や、習い事などを続けることができないかもしれない場合、どのように対処しますか？また、**誰に相談しますか。**
- ③ 友人や先生が倒れていた場合、あなたは心肺蘇生をおこないますか。また**行わない場合の理由はなんですか。**

教員対象

- ④ 学校にある**AEDのメンテナンスは誰が行なっていますか。使用期限を知っていますか。**

結果



考察

【結果①より】
多くの児童は救急救命について学びたいと思っており、AEDや胸骨圧迫のシミュレーションが有効である可能性が示唆された。本研究後に再度学校でシミュレーションを行ったという報告があり、**シミュレーションを行う重要性、児童・生徒や教職員への影響の大きいと考えられる。**

【結果②より】
「誰にも相談しない」や「ネット上に匿名で相談する」といった回答も見られ、スクリーニングで疾患を発見した生徒に対しては、身体面の経過観察のみでなく、精神面においても相談しやすい、**子どもに寄り添える環境を整備することが重要である**ことが示唆された。

【結果③より】
子どもが心肺蘇生を行わない理由については「失敗した時が怖いから」という答えが最も多かった。救急蘇生シミュレーションを行い、蘇生に対する**不安感を軽減する効果が得られる**ことが期待出来る。

【結果④より】
教員にはAEDのメンテナンスに関して認知はほとんどされておらず、使用期限については完全に認知されていなかった。AEDの使用期限を超えていたため使用できなかったという事故が起こる可能性もある。AEDを導入することのみでなく、いつでも使用できる状況にしておくため、**メンテナンスへの啓蒙も重要**と考えられた。

結論

- ✓ 今回の調査によって、生徒や教員の学校救急体制やスクリーニングに対する知識や意識が明らかになった。
- ✓ 本研究から見えてきた問題点を徐々に解決することによって、より良い学校救急体制の構築や、スクリーニングを行うことができる可能性が示唆された。
- ✓ 今後アンケートを継続的に行うことによって**意識の変化を観察し、更なる救急シミュレーションの体制の構築やスクリーニング前の授業の改善を行い、子どものヘルスケア・ウェルネスを向上、子どもたちの最善の利益を追求**を目指す。



The 59th Annual Meeting of Japanese Society of Pediatric Cardiology and Cardiac Surgery
第59回 日本小児循環器学会総会・学術集会

- ENGLISH
- ホーム
- 会長挨拶
- 開催概要
- 演題募集
- プログラム・日程表
- 参加登録
- 参加者へのご案内
- 座長・演者へのご案内
- 全員懇親会・会長賞表彰式
- 特別企画
- 委員会企画
- レジェンドレクチャー



information 最新情報

- 2023.09.01 オンデマンド配信を終了しました。
- 2023.07.25 オンデマンド視聴サイトを公開しました。
 視聴期間:2023年7月26日(水)～8月31日(木)
- 2023.07.01 後期参加登録が開始いたしました。
- 2023.06.30 WEB抄録を公開いたしました。

ポスター会場

11:10～12:10

ポスター発表 (I-P02-5) 学校保健・疫学・心血管危険因子

座長：内田 敬子 (慶應義塾大学保健管理センター)

I-P02-5-01 無脾症候群における侵襲性肺炎球菌感染症に関する検討：肺炎球菌結合型ワクチンの定期接種導入前後での比較

水野 雄太 (千葉県こども病院 循環器内科)

7月6日(木)

- I-P02-5-02 冠動脈起始異常の心臓突然死イベントと上室性頻拍の関連性
 連 翔太 (福岡市立こども病院 循環器科)
- I-P02-5-03 開業産科医院で出生するVSD児の実態
 岡川 浩人 (独立行政法人地域医療機能推進機構滋賀病院)
- I-P02-5-04 日本における先天性心疾患新規発症5年間 (2017-2021年) のまとめ
 井上 忠 (慶應義塾大学 小児科学教室)
- I-P02-5-05 学校心臓検診を契機に診断された房室中隔欠損の特徴と抽出上の問題点
 萩野 梨恵 (広島市立広島市民病院 循環器小児科)
- I-P02-5-06 岐阜県西濃地域の小学校1年生心臓検診で抽出された心電図所見の有用性と疾患特異性について
 倉石 建治 (西濃保健所管内児童心臓検診読影委員会)
- I-P02-5-07 よりよい学校救急体制構築をめざした児童・生徒・教職員に対する意識調査
 木下 輝来 (愛媛大学 医学部 医学科)
- I-P02-5-08 小児心電図の疫学研究：幼児期の心電図健診実施の意義の検討
 岩澤 伸哉 (東北大学病院小児科)
- I-P02-5-09 当院における心疾患合併COVID-19の入院症例の検討
 土田 裕子 (東京都立小児総合医療センター 循環器科)